

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス JOYヴィレッジ伊勢原校		
○保護者評価実施期間	令和 6年 11月 20日		～ 令和 6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 1日		～ 令和 6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書が個々のニーズに合わせて作成できている	利用時の様子を保護者様と共有し、家や学校、他の事業所などの様子も確認させて頂き、その都度ニーズに合わせた状況を確認するようにしている	最初のアセスメントから更にしっかりと聞き取りをし、利用が開始したのちも、モニタリング、アセスメントを繰り返すことで変化しているニーズの確認をし、個別支援計画書を作成していく
2	自己選択できるプログラムの提供をしている	利用時のおやつに「買い物学習」を取り入れることで、食べたいか食べたくないかを始めとし、自分で食べたい物を選ぶ機会が必ずある	将来的に自分で決めていく力をつけていくために、集団プログラムについても、自分たちのやりたいことを選ぶ機会を増やしていきたい
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との交流や、地域資源の活用が少ない	積極的な地域交流への意識が欠如していた	夏祭りやハロウィンなど、大きなイベント開催時には、近隣の方々や他の事業所の方を招待する機会を考えていく
2	家庭支援プログラムや、父母会などの家族への支援が少ない	保護者会は年に1回開催しているが、開催の前や後の周知が少なかったと思う	周知を強化すると共に、家族参加型のイベント開催を企画する。 利用しているお子様のことだけでなく、家族の方々の心配なことや困りごとを聞ける機会を作っていく
3			